



①	②	④	
	③	⑤	⑥
⑦	⑧		

- ①南郷 青児「羊飼」(1935)
 ②梅原 龍三「雲城の黄昏」(1939)
 ③藤島 武二「海」(1932)
 ④和田 英作「静物(果物)」(1920)
 ⑤熊谷 守一「玩具」(1957)
 ⑥小磯 良平「朝」(1939)
 ⑦安井曾太郎「女と犬」(1940)
 ⑧林武「タリヤ」(1940)

伊達市梁川美術館は2024年(令和6年)に開館30周年を迎えます。梁川町出身の彫刻家・太田良平の作品を常設展示する記念ホールと町民の作品発表の場となるギャラリーを備えた町民美術館からスタートし、2006年(平成18年)の伊達市合併後は「伊達市梁川美術館」として市民と共に歩んでまいりました。

2011年(平成23年)の東日本大震災以降は絵本原画・現代美術・サブカルチャーなど様々な企画展を開催してまいりましたが、今回の企画展では夏休みに合わせ、子どもから大人までじっくりと芸術の世界に親しんでもらえる日本近代洋画の展覧会を開催します。

幕末から明治維新後、日本は西洋から制度や文物など様々なものを取り入れて近代化を図りました。芸術の世界にもその波は及び、油彩画の技法は「洋画」と呼ばれるジャンルとして広がります。そしてはじめは技術を学ぶだけだったものが、その流入から半世紀を経た昭和戦前期には、次第に画家たちが各々の個性を表現するまでに成長していきます。

公益社団法人糖業協会が所有する日本近代洋画コレクションは、洋画が日本に根付いた後それぞれの画家たちが独自の表現を模索し創り上げてきた頃の作品が大半を占めています。藤島武二、梅原龍三郎、安井曾太郎、小磯良平等美術の教科書に出てくるような画家が多く、馴染みある名前を見つけることができるでしょう。

今回の企画展では来る開館30周年に向け、これら珠玉の作品をご紹介しますがより多くの皆様に当館に親しんでもらえる機会とし、あわせて、常設展では同時代を生きた伊達市ゆかりの作家の作品も展示します。夏のひとときをぜひ美術館でお過ごしください。

お問い合わせ・交通案内

〒960-0782
 福島県伊達市梁川町字中町10
 TEL/024-527-2656 FAX/024-573-1990

交通のご案内

- 同武蔵急行線「梁川」駅から徒歩20分
- 福島交通バス「梁川中町」バス停から徒歩2分
- 東北自動車道国見ICから15分

※当館南側のお客専用駐車場をご利用ください。
 満車の場合、梁川中央交流館駐車場をご利用ください。



伊達市梁川美術館

Q 検索